

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	平成 3 0 年 3 月 日
名 称	第 2 回放課後事業運営協議会会議		
日 時	平成 3 0 年 3 月 1 2 日 (金) 1 6 時 0 0 分 ～ 1 7 時 0 0 分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	委員：稲毛委員長、田畑、高館、西田、杉本、和田、安川、松本 8 名 教育委員会：服部教育長、北川課長、北川主査、若林、黒田社会教育指導員 保健福祉課：吉河主幹		
内 容	<p>北川課長進行 教育長、委員長の挨拶後、委員長の進行により議事開始</p> <p>○報告事項</p> <p>1 平成 29 年度放課後事業状況について、(1)～(4)まで・・・北川報告 30 年 2 月末現在の登録及び利用状況等について報告 質疑なし</p> <p>2 活動状況について 2 月開催の放課後事業説明会でスクール・クラブの様子の DVD にて説明 (1)放課後スクール・・・黒田社会教育指導員報告 上小は毎日 1 5 名ほどの参加、指導員 2 名体制 宿題後 1 5 時からチャレンジタイムをクラブと合同で行っている。 利用は 1 年生が多く、上級生は少年団、スクールバンドまでの時間や、 兄弟の下校に併せ下の子が待ち時間に利用している。 問題行動の児童については、教頭に相談し担任と放課後スクールで協 議し、学校の協力を得ながら支援している。 西小は毎日 3 0 名ほどの参加、指導員 3 名体制 入室後は宿題、パズルで過ごし、チャレンジタイムは 6 年生が移動や 遊びを主導で行っており、指導員は見守りしている。 上級生がお兄ちゃんお姉ちゃんのように異学年交流している。</p> <p>(2)放課後クラブ・・・若林社会教育指導員報告 2 年前は預りであったが、現在は指導も取り入れ運営している。この 1 年で後片付けや話を聞く姿勢など定着している。今月から始めと終わ りのあいさつを始めた。</p>		

内 容	<p>委員の意見</p> <p>松本委員 特別支援児童をどのように対応するか、各所の連携が必要だ。</p> <p>田畑委員 特別支援児童については情報を提供し協力していきたい。臨時下校の場合は下校優先としてほしい。</p> <p>北川返答 急な臨時下校は保護者が迎えに来た場合はクラブは休みとし下校しますが、迎えに来れない場合はクラブで預かります。</p> <p>高館委員 スクール利用が年間 6,300 人だが、家庭科室が学習で使用の場合に図書室対応で申し訳ない。クラブは見る事が出来ないので月 1 回見学するようにしている。</p> <p>西田委員 嵐など急な出欠があると連絡など対応を協力していきたい。</p> <p>杉本委員 防災訓練実施やマニュアル整備の対応が必要だ。</p> <p>北川返答 訓練やマニュアル整備は早急に取りかかりたいと思います。</p> <p>和田委員 怪我が多いが苦情などないか。</p> <p>北川返答 保護者には受傷後すぐに連絡し状況説明していることもあるのか、苦情はありません。</p> <p>安川委員 低学年の生活習慣の定着がされてよい。</p> <p>3 平成 29 年度放課後事業保護者説明会について・・・北川報告</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 月末で支援員 2 名が退職予定。支援員 1 名、補助員が 5 月から決まっているが知り合いなど紹介を依頼。 ・ 放課後事業運営協議会委員は 2 年の任期で、次年度も引き続き協力依頼し終了した。
-----	--